

## 落雷に関する保険犯罪防止セミナーを開催

日本損害保険協会中部支部(会長:松田 謙二郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員)では、11月27日(月)に名古屋市内で「落雷に関する保険犯罪防止セミナー」を開催しました。

毎年、夏などに落雷が各所で発生し、エアコン・PC・電話機を中心とした保険請求件数が一時的に多くなる傾向にあります。その中には、落雷事故を装った請求など、保険金不正請求と呼ばれるものもあるので、損害保険会社社員等向けに、落雷に関する保険犯罪防止セミナーを開催しました。

当日は、損保各社の社員等79名が出席し、株式会社フランクリン・ジャパンの寺島課長(気象予報士)から「落雷データの活用方法等について」、一般社団法人技術士PLセンターの増田技術士から「落雷の概要・落雷被害調査方法・落雷事故の判断等について」をテーマにした講演がありました。実際に落雷に関する請求を受け、疑問を持ったことがある出席者もあり、熱心に耳を傾けていました。

終了後のアンケートでは、回答者73名のうち、93%が「とてもよく理解できた」「理解できた」と回答し、業務に役立つかという問いに対しては、96%が「とても役立つ」「役立つ」、情報の真新しさについては、89%が「とても目新しい」「目新しい」と回答しました。また、「落雷は損害との因果関係の立証が難しいため、落雷事故の仕組みがわかり勉強になった」「定期的で開催してほしい」「もっと話を聞きたい」などの感想も寄せられました。

当支部は、今後も引き続き、保険犯罪や不正請求の防止に向けて取り組んでいきます。



<セミナーの様子>



<寺島課長の講演の様子>



<増田技術士の講演の様子>